

知っておきたい 保険 のはなし

猫劇場

～まだまだ必要！熱中症に警戒を！編～



今年は異常な暑さが問題になっているわよね。

皆さん、熱中症対策していますか？最近は秋がどんどん短くなっているの。まだまだ暑さは続きますよ。



沸騰化の時代とか言われてるわよね。

どんどん暑い期間が長くなっててる気がするし…やんなっちゃう。



熱中症は、めまいや吐き気、立ちくらみ等の症状があるの。

さらに進むと、手足がつったり、急に力が入らなくなったり。

重症化した場合は、けいれんが起きたり、最悪の場合は意識を失って命を落とすことも…！！



最近の夏は長いの！しかも「人を殺す暑さ」なの！これ、よく覚えとかないとね。9月になれば秋、はもう昔の話。甘く見ちゃいけないのにや！



熱中症になった患者さんのうち、半分以上は65歳以上の高齢者。

高齢者は暑さやどの渦きを感じにくくなっているの。

さらに！からだの調整機能も低下してきちゃうお年頃だから、余計に熱中症になりやすい状態に…。こまめに水分をとったり、暑いところに居続けないようにしたり。意識して注意することが必要ね。あとは、周りの人が声掛けをしてあげることも大切。



冷房は我慢しなきゃいけない、とか思ってんなら大間違い！

それ、絶対ダメよ？確かにね、電気代、高いんだけどね…んもう！これどこに文句言ったらいいいのかしら。まあ、でもね。命が一番大事だからね。ちょっと頑張って他で節約して、まだまだ冷房はちゃんと使ってほしいのよ。熱中症になっちゃったら、医療費だってかかるからね。

じゅじゅ
寿寿
しっかり者の
お姉さん猫



はっぱ
わがまま、
気まぐれな
妹猫

知っておいたら役に立つ保険の知識。でも、難しくてよく分からない…。そんな保険のおはなしを、寿寿とはっぱが分かりやすく解説します。

監修／アストのほけん

熱中症対策のポイント

室内

- ・扇風機やエアコンで温度を調節
- ・遮光カーテン、すだれを利用
- ・室温をこまめに確認

からだの蓄熱を避ける

- ・通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する
- ・保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす

こまめに水分を補給する

室内でも、屋外でも、のどの渦きを感じなくとも、こまめに水分・塩分、スポーツドリンクなどを補給する

熱中症で入院や通院をした場合も、通常の病気と同じように健康保険が適用されるわよ。実際にかかった医療費の一部負担（1割～3割）で済むってこと。もちろん、高額療養費制度も使えるの。

高額療養費制度は、医療機関や薬局窓口で払った額が1か月間で上限を超えた場合は、超えた分が戻ってくる制度。上限は年齢や所得によって違うけれど、医療費の自己負担が一定の範囲内に収まるのは安心よね。



まだまだ暑さは続くわよ～。

熱中症リスクの高い人、お外や暑い場所での活動やお仕事をしてる人は、特に注意!!! しっかり熱中症対策して過ごしてにゃ！